

「国際金融都市OSAKA推進委員会」
第1回 部会資料

めざす都市像実現に向けた戦略の柱と重点取組

◆めざす都市像「金融をテコに発展するグローバル都市」、「金融のフロントランナー都市」の実現に向けた戦略の柱と重点取組を「育む」「呼び込む」「支える」の3つのアプローチ軸で整理

「育む」:自らの魅力を高めていく 「呼び込む」:国内外他地域から呼び込んでくる 「支える」:「育む」、「呼び込む」ための基盤整備

	1 金融をテコに発展するグローバル都市	2 金融のフロントランナー都市	1 2 共通
育む	(1)魅力的なまちづくりに向けた金融面からの推進	(1)エッジの効いた先駆的な金融商品・市場の形成	
呼び込む	(2)ベンチャー企業および地域活性化のための多様な資金調達方法の支援	(4)金融分野における高度人材の育成	(5)大阪府市による先駆的なインパクトのある取組み
支える	(3)レジリエンス向上のためのデュアルオペレーション化	(2)ESGファイナンス先進地域に向けた取組み	(1)海外との連携 (2)情報発信・プロモーション (3)海外から人を引き付ける取組み
	(4)国内の金融市場の活性化	(3)金融サービスに関する規制の緩和に向けた働きかけ	(4)魅力的な住環境の整備

各部会で検討いただきたいテーマ（戦略の柱）

- ◆ 戦略の柱に基づいた具体的な取組みについて、実施主体や取組期間、課題、期待される効果等を整理し、実現可能性のある取組みを検討していく

部会名	戦略の柱（検討テーマ）	論点
①地域活性化部会	(a)魅力的なまちづくりに向けた金融面からの推進	・万博のインパクトや大規模プロジェクトを活用した社会実装プロジェクトへの投資の検討 など
	(b)ベンチャー企業および地域活性化のための多様な資金調達方法の支援	・フィンテックなどによる新たな資金調達の促進の検討 など
②レジリエンス向上部会	レジリエンス向上のためのデュアルオペレーション化	・企業のデュアルオペレーション化推進のために必要な（金融）支援の検討 ・データセンターやミドルバックオフィス誘致の検討 ・グローバルに提供される新たな金融商品・機能の検討 など
③ESGファイナンス部会	ESGファイナンス先進地域に向けた取組み	・大阪・関西が国内外から投資資金を呼び込むことができる分野や方策の検討 など

部会における議論のねらい

【ねらい】

二つのめざす都市像（「金融をテコに発展するグローバル都市」「金融のフロントランナー都市」）の実現に向けて、重視すべき視点を踏まえ、戦略の柱に基づいた「具体的な取組み」（誰が、いつ、どうやって、何をするか）について、議論を深めること

【部会の開催予定・議論のポイント】

※部会は2～3回程度の開催を予定

部会開催	ご議論いただきたいポイント
第1回 (本日)	<ul style="list-style-type: none">・具体的な取組み案に関する「取組手段・手法」「取組実施における課題」・記載以外の取組み案のアイデア出し (各企業の皆様による取組み、行政が主体となる取組みなど) <p>➡いただいたご意見をふまえ、役員会・総会にて議論いただく資料を事務局にて作成</p>
第2回以降 (9月末以降)	<ul style="list-style-type: none">・第1回部会の積み残し・取組みにより期待される成果・効果・取り組み期間、目標・検討結果の部会とりまとめ (第1回・2回議論をふまえ「誰が」「いつ」「どうやって」「何をするか」を明確にする) <p>➡部会にてとりまとめた内容は幹事会にて部会長または事務局より共有</p>

【参考】めざす都市像・取組み検討にあたっての環境分析

強み (Strength)

【事業環境】

- ・政治的安定、治安のよさ
- ・うめきた2期や中之島未来医療拠点等新たなイノベーション創出拠点
- ・ライフサイエンス分野などグローバル企業の集積
- ・大企業を支える強靱な中小サプライヤー等産業の集積
- ・インバウンドによる経済活性化

【人的資本】

- ・関西の高等教育機関・研究機関の集積
- ・「やってみなはれ」精神、大阪人気質
- ・食文化など住みやすく魅力のある町

【インフラ】

- ・鉄道網、国際港湾、関西三空港等整備された交通インフラ
- ・割安な不動産 ・人口規模

【金融セクター】

- ・2つの取引所の存在、新たなPTSの設置 ・豊富な個人金融資産

【評判】

- ・デリバティブ発祥の地
- ・関西一体での魅力的な観光地としての評価
- ・アジアとの近接性

弱み (Weakness)

【事業環境】

- ・企業本社、資金、情報などの東京集中・流出
- ・投資対象となるスタートアップの不足
- ・起業から成長過程のファイナンス支援体制の不足
- ・技術力を持った中小企業の事業承継の遅れ
- ・行政DXの遅れ

【人的資本】

- ・高度金融人材・テクノロジー人材の不足
- ・格付機関、弁護士等金融市場に関わる専門機関・人材の不足
- ・起業マインド・グローバル意識の不足
- ・金融リテラシー教育の不足

【インフラ】

- ・病院、学校、生活施設等住環境の多言語化対応（災害時を含む）
- ・少子高齢化

【金融セクター】

- ・取引所での取引時間や日数が少ない
- ・フィンテック企業の不足

【評判】

- ・国際金融都市ランキングの低さ
- ・国際的知名度の低さ、対外的アピール不足

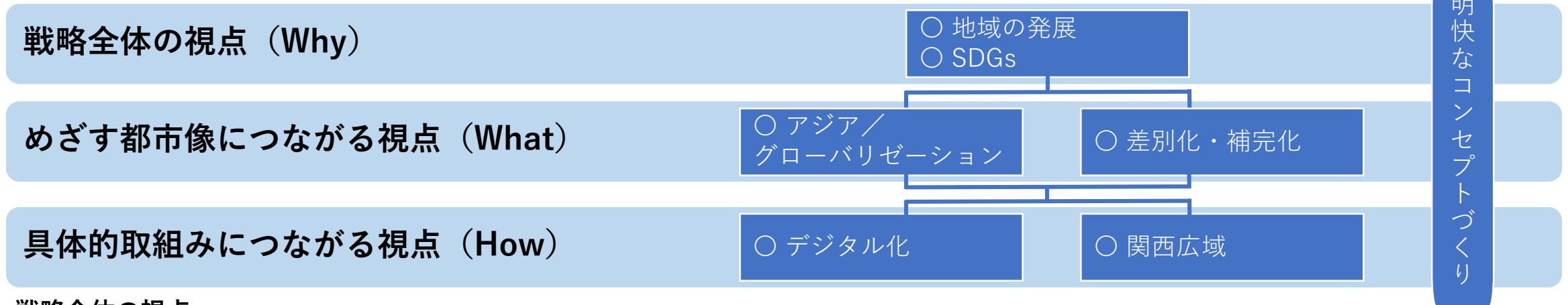
機会 (Opportunity)

- ・2025年大阪・関西万博のインパクト
- ・スタートアップエコシステム「グローバル拠点都市」指定
- ・BCPの観点による東京一極集中解消に向けた機運の高まり
- ・デジタル化やリモート文化の進展
- ・レジリエンス向上に向けたデータセンター等の設備投資の機運
- ・世界的なESG投資の流れの加速
- ・Fintechを活用した金融サービスの広がり

脅威 (Threat)

- ・規制、税制
- ・日本進出時の各種手続きの困難さ、煩雑さ
- ・自然災害、気候変動やテロのリスク
- ・データセンター立地の偏在
- ・海外の金融先進都市での富裕層の取り込み
- ・非上場企業の資金調達場が少ない
- ・株式の流動性の低さ

【参考】重視すべき視点



戦略全体の視点

◆明快なコンセプトづくり

国際金融都市の定義や要件はないため、めざす都市像を共有したうえで、その実現に向けた取組みについて明快なコンセプト・ストーリーを示す視点

◆地域の発展

経済活動の潤滑油であり、地域社会や経済活動と密接な関係にある金融の力を活用して、地域の成長発展、ひいては住民の利益・幸福にもつなげるという視点

◆SDGs

大阪を国際金融都市にしていくための個々の取組みがSDGs達成にもつながるという視点

めざす都市像につながる視点

◆アジア／グローバル化

金融をはじめビジネスは国境を越えてグローバルに展開されており、常に世界を意識して国際競争力を持ちながら、他都市との連携によりアジア・世界のハブとなって人材、資金、情報を集め、相乗効果を生み出す視点

◆他都市・他地域との差別化・補完性

大阪・関西が選ばれる地域になるため、大阪の強みや機会を活かし革新的でエッジの効いた取組みなどによる差別化を図るとともに、レジリエンス向上による日本の国際的地位を高めるため、補完性を備える視点

具体的取組みにつながる視点

◆デジタル化

世界的なデジタル化の潮流を踏まえ、特にデジタルと親和性の高い金融分野においてフィンテックなどの新しい技術を取り入れていく視点

◆関西広域

異なる特色を持つ都市が集積し、多彩な魅力を有する関西の特徴を生かし、その総合力を発揮して国際的に存在感を示す視点